



親子自然ウォッチング 2014
わんぱく遊び隊通信

No.135 2014年08月04日 発行

川で魚とりをしよう！ 琴似発寒川(札幌市西区)
2014年7月5日(土曜日) くもり

蒸し暑い一日で川での活動日和。午前と午後の2回、川の生き物を自分で捕まえて観察しました！ 琴似発寒川は魚の種類が多くてビックリです。

まずは準備運動



足首よ～く伸ばして回してね。

川へ移動



川まで歩いて移動です

夕モ網を使って生き物探し



今日の講師アダ名は「おやし」。よろしくね

農試公園に集合。川での活動は危険もあります。注意事項をしっかりと聞いて、準備運動しっかりと川へ出発です！



草の陰に魚がいるかな？



石の下にいるかな？

川のスペシャリスト「おやし」さんの説明をよく聞いて、魚の捕まえ方や川の流れを知ったら、早速魚とり！



親子で協力して魚を夕モ網で捕まえました！



自分で捕まえた嬉しいね。



ヤゴとトビケラ



捕った魚は上手にバケツへ

観察できたもの：フクドジョウ、シマウキゴリ、ヤマメ、トウヨシノボリ、ヌマチチブ、ウグイ、イバラトミヨ、モクスガニ、スズエビ、ヌマエビ、ヒゲナガカワトビケラ、ヤゴ、カワゲラの仲間、ヘビトンボ幼虫 など

釣り体験



ミミズを自分で針につけます。



釣れたよ！



暑い日は水が気持ちいい♪。



トウヨシノボリ

手作りの竿での釣りにも挑戦！ 午前はハゼが良く釣れました。午後イマイチ釣れなかったです。

川の生き物観察



どんな魚が捕れたかな？



魚の種類、わかったね



捕った魚はみんなで観察。水槽いっぱい魚が集まりました。数はフクドジョウが多かったです。川のお話もちよっと難しかったかな？ 海と行き来ができるからこの場所は魚の種類が多んだね。

季節による魚 琴似発寒川ではたくさん魚が捕れ楽しかったですね。ここでは琴似発寒川の魚をさらに知ってもらうため、季節的な理由で見られなかった種類を紹介します。魚は季節に応じて川の中で産卵(卵を生むこと)しているため、その姿を見るためには産卵する時期に合わせて川に出かけるのと良いでしょう。春はカワヤツメ、ウグイが代表的です。これは5月下旬くらいから産卵を始めます。今回は産卵が終わっていたので見る事ができま

せんでした。一方、秋に産卵するサケはこれから姿を見ることができ、農試公園付近でも産卵します。札幌市豊平川さけ科学館では、川に帰ってきたサケを観察する「サーモン・ウォッチング」を毎年行っているため、こちらに参加するのがオススメです。琴似発寒川は春も夏も秋も魚でにぎやかです。また冬になっても、水の中でサケの赤ちゃんがすくすくと育っていることを想像すると、少し視野が広がる気がします。 **コラム おやし**

発行・お問合せ **自然ウォッチングセンター**

〒005-0005 札幌市南区澄川5条10丁目4-16 Tel: 011-583-5208 Fax: 011-583-5233
E-mail: wanpakuasobitai@tea.ocn.ne.jp URL: http://homepage2.nifty.com/watching/

編集 おひょう

後援：札幌市教育委員会 / この活動は、子どもゆめ基金(独立行政法人 国立青少年教育振興機構)の助成金交付を受けて行うものです。